

提 案 概 要

実施期日	7月31日(金)
部 会 名	中学校 総合的な学習の時間部会

1 提案テーマ 『総合的な学習の時間における体験を重視した学習計画』

2 単元(題材) 福祉学習

3 学年 第1・2学年

4 平成27・28年度神奈川県中学校教育課程研究会研究主題とのかかわり

- ② 体験活動と言語活動の充実
 - ・問題の解決や探究活動の過程に適切に位置付けた体験活動の工夫
 - ・言語による整理・分析等の重視及び他者との協同した活動の工夫

5 学習指導要領との関連

第4章 総合的な学習の時間 第3 指導計画の作成と内容の取り扱い

1(5)学習活動については、学校の実態に応じて、例えば国際理解、情報、環境、福祉・健康などの横断的・総合的な課題についての学習活動、生徒の興味・関心に基づく課題についての学習活動、地域や学校の特色に応じた課題についての学習活動、職業や自己の将来に関する学習活動などを行うこと。

6 実践に向けての課題意識

本校の生徒は、大人とかかわったり、地域の方々とふれあったりする経験が不足している。また、将来に向け、見通しをもったり、自分の考えを伝えたりすることも苦手である。これらの課題を踏まえ、「自らの生き方を考え、行動できる人になろう。そのために、たくさん体験してみよう。」を目標とした実践に取り組んでいる。

7 実践の概要

「総合的な学習の日」として、年間7回の総合的な学習の時間のまとめ取り(1年生のみ5回)を行っている。「総合的な学習の日」の前日に1時間、翌日に1時間、1週間前に1時間、事前・事後活動として設定されている。

1年次は、学級やグループを単位として、福祉・国際交流・地域環境等を中心とした内容を選択し、基礎的体験を中心とした学習をする。福祉に関しては、第2回で手話を学ぶ。第5回で、車椅子体験・アイマスク体験・講話学習を行う。

2年次は、1年次とほぼ同じ分野を個人で選択して、発展的に学習する。第3回では、交流学习・福祉体験学習の選択制とし、近隣の特別支援学校での体験、駅周辺での点検活動、手話学習(発展)と点字教室、録音奉仕、福祉施設での体験の中から選択して学習する。第4回では、環境、国際、地域、福祉などの分野で学習する。福祉分野の講座では、点字教室(発展)、施設体験学習を行う。

3年次は、1・2年次の体験を生かし、個人で課題解決学習に年間を通して取り組み、全校発表会を行う。まとめ取りを生かして、体験することを大切にしている。今年度も福祉関係のテーマを選んだ生徒は少なくない。

8 成果と課題

平成26年度全国学力・学習状況調査の「総合的な学習の時間での学習は普段の生活や社会に出たときに役立つ」について、8割以上が肯定的に回答している。しかし、自分の考えや意見を発表することについては、肯定的な答えが5割程度しかない。今後、教科学習・全教育活動において、「発表する」「伝える」機会を積極的に設けていく必要がある。

これまで、様々な機関・団体の協力を得ながら進めてきたが、協力者も校内教職員も人事異動による入れ替わりが進み、連携を維持していくことが難しい状況となっている。教職員の努力と工夫により、機関・団体への依頼は継続している。

9 予想される協議の柱

- ・総合的な学習の時間で体験活動を充実させていくうえでの課題と成果
- ・総合的な学習の時間で言語活動を充実させていくうえでの課題と成果